

# 鹿本高校SSH通信 Vol.55



SSH  
Super Science High school

## YSPⅢ研究成果発表会・YSPⅡ研究計画発表会

7月15日(水)に、本校の課題研究である理数探究(YSP:Yamaga Science Program)の2年生の研究計画発表会と3年生の研究成果発表会を開催しました。今年度は全校体制で行い、1年生も含めて、1日を通して発表と質疑応答が各教室で行われました。午前中は2年生の研究計画発表を1年生と3年生が参観して、質問やアドバイスをを行いました。



2年生はまだ計画段階ですので、具体的になっていないところや調査不足のところもありますが、3年生からのアドバイスや1年生からの素朴な質問を受けて、気づきを得るための機会にすることが目的です。これから夏・秋にかけて研究を深めていってほしいと思います。午後には3年生の研究成果発表を2年生と1年生が参観しました。

3年生は1年3カ月ほどかけて行ってきた研究の成果を発表するだけあって、話す内容も多く、時間が足りていない人もいました。発表や質疑応答に慣れている様子の生徒もあり、1・2年生にとって良いお手本になっていたように感じます。



みらい創造科グローバル探究コースの生徒は英語でのポスター発表を行いました。県内のALTの先生方や熊本県立大学の留学生・先生方にご協力いただき、来校の上、生徒の発表を聞いていただきました。

日程の最後に、代表発表として日本語発表1件と英語発表1件がオンラインで行われました。1日を通しての発表会であったため、発表の聴き方も上達している様子が見られました。



それぞれに探究活動を通して、鹿本高校のSSHが目指す姿に向けて、益々成長を続けていってほしいと思います。

## 1年生YSPアカデミア「問ー1グランプリ」開催！

7月15日(水)、2年生がYSPⅡ研究計画発表会、3年生がYSPⅢ研究成果発表会の準備をしている時間に、1学年では、「問ー1グランプリ」を開催し、生徒たちは、学友が作成した日頃の興味関心や疑問を表す「問い」(簡潔な説明文付き)の写真を鑑賞し、付箋でコメントを残したり、優秀作品を選んだりしました。

生徒による最優秀「問い」として選ばれたのは、「体温と同じ温度なのにとても暑いと感じるのはなぜだろう」でした。暑い日が続く中多くの共感を集めたためと考えられます。また理科教員選出のSSH賞には「なぜスイッチを押すだけで瞬時に光を出すことができるのか」が選ばれ、日頃の当たり前の減少をなぜと捉える感性が評価されました。何が「いい」と感じるかは、人によって大きく分かれていました。大切なのは自らの「問い」です。1年生には、自らの「なぜ?」「どうして?」という感性を大切にして、2学期からの課題研究活動に取り組んで欲しいです。

